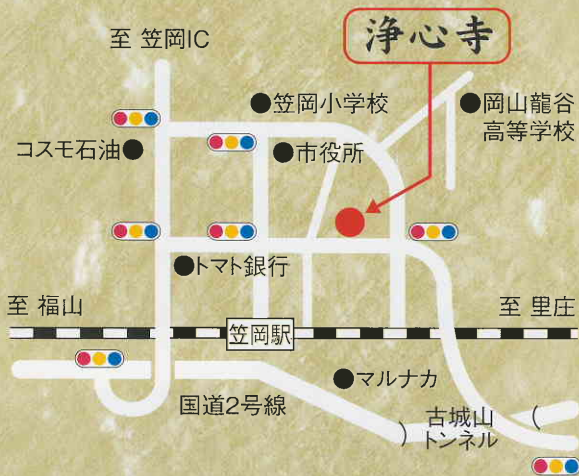


阿弥陀堂の屋根の亀



門前の池には亀や鯉など
いろいろな生き物が生息しています。
昔より「カメの寺」との愛称と呼ばれ、
多くの人に親しまれています。



浄土真宗本願寺派

法性山 浄心寺

〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡2065

電話 (0865) 62-2623

FAX (0865) 62-2595

HP: <http://joshinji.suki-ari.net/>

編集発行 浄心寺門信徒会
2016.11.



浄土真宗本願寺派

浄心寺





本堂と阿弥陀堂(左)



鐘楼



阿弥陀堂のステンドグラス
豊本善隆氏制作(2014)



雷震蔵



当寺ゆかりの人
僧侶・社会事業家・南画家

津田白印

文久2年(1862)、第14世住職・津田明海の次男として生まれ、本名を明導。19歳のとき 福岡県豊前市の乗桂校で仏教学と漢学を修める。同時に長崎派の画家・成富椿屋に南画を学ぶ。30歳の時、奈良監獄の教誨師となる。

育児院の創設

明治33年(1900)市内 富岡にあった本林寺に孤児を養育する「甘露育児院」を創設。明治39年(1906)東北地方の大飢饉に際し、孤児108人を連れて帰り手狭になった施設を当寺に移す。

女子教育の充実

大正12年(1923)私立淳和女学校(のち淳和女子高校。現 岡山龍谷高校)を創立。
淳和学園黎明高校は、平成14年6月、龍谷総合学園に加盟し浄土真宗本願寺派の宗門関係学校の一員となり宗教教育を実施している。

画業

昭和21年(1946)2月、85歳で往生。優れた花鳥画や山水画を残し、幅広い学識や温和な人柄を反映した作品は、気品にあふれ今なお高い評価をうけている。



蓮如真筆六字名号



宗祖の真筆と伝えられる
十字名号

主な法宝物



親鸞聖人 荒乳山御苦労図



高僧連座像



往生要集獄苦図(四幅:部分)

沿革

- 天正 19年(1591) 開基・善了、本願寺・顕如宗主の命を受け笠岡に下向し東山山麓に一字を建立
- 寛文 3年(1663) 木佛ご本尊允許
- 寛文 5年(1665) 東山旧坊を廃し、現在地に五間本堂建立
- 寛文 6年(1666) 寺号「浄心寺」公称認可
- 元禄 元年(1688) 鐘楼建立
- 宝永 4年(1707) 七間本堂棟上
- 寛延 2年(1749) 経蔵建立のちに『靄震蔵』と命名
〔島地黙雷師〕
- 安永 5年(1776) 鉄眼開版による黄檗版大蔵経、2970巻を求む(請銀四貫八拾三匁七分五厘)
- 文化 3年(1806) 幕府御用方・伊能忠敬一行、瀬戸内沿岸測量のため当地に入り、当寺に投宿
- 文化 14年(1817) 門前の掘、造成
- 明治 33年(1900) 第十四世・明海の次男、明導(白印)、甘露育児院を創設。のち淳和女学校を設立(大正12年 現 岡山龍谷高校)
- 昭和 24年(1949) 梵鐘再鑄(太平洋戦争に供出)
鐘楼移転
浄友会発足(53年解散)
- 昭和 54年(1979) 浄心寺門信徒会発足
- 昭和 58年(1983) 「浄心寺だより」創刊
- 昭和 63年(1988) 昭和大修復落成(昭和62年1月着工、同63年3月竣工)
- 平成 5年(1993) 浄心寺仏教婦人会発足
- 平成 10年(1998) 浄心寺開基四百年慶讃法要厳修
- 平成 28年(2016) 阿弥陀堂落成、鐘楼屋根改修



中興 明傳(第6世)

主な年間行事案内

- ◆修正会 1月 1日
- ◆新春のつどい 1月 初中旬
- ◆春季彼岸会、永代経法要 3月 中旬
- ◆花まつり 4月 29日
- ◆降誕会(上方落語)、初参式 5月 中旬
- ◆研修旅行 6月 初旬
- ◆法物虫干し法座 7月 下旬
- ◆サマースクール(1泊2日) 7月 下旬
- ◆盂蘭盆会 8月 15日
- ◆秋季彼岸会、永代経法要 9月 中旬
- ◆報恩講 12月 初旬
- ◆除夜会 大晦日
- ◆朝のおつとめ 毎日6時
- ◆門信徒会委員会
 - *総会 *地区委員会 *事務局会
- ◆やさしい仏教講座 偶数月
- ◆仏教婦人会
 - *総会 *例会 *ダーナ・バザー *研修旅行
 - *料理教室 *清掃奉仕 *仏具お磨き
 - *各種行事賛助
- ◆女性コーラス同好会「コール清風」 毎月第2土曜日
- ◆文化箏同好会 毎月第1水曜日
- ◆念仏のつどい 毎月15日(1月・8月・9月は除く)
- ◆『浄心寺だより』発刊 年4回(3月・5月・7月・11月)